

第3学年 外国語活動 学習構想案

日時 令和7年1月24日（金）第5校時

場所 3年1組教室

指導者 教諭 倉本 大輔 (T1)

教諭 井坂 洗貴 (T2)

1 単元構想

単元名	Unit8 「What's this ?」 (文部科学省「Let's try! 1」 p 30～33)		
単元の目標	(1) 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。[知識及び技能] (2) 相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりし合う。[思考力、判断力、表現力等] (3) 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	「話すこと〔やり取り〕」(ウ) あるものが何かについてWhat's this?やHint please.It's a～.などを用いて尋ねたり、答えたりすることに慣れ親しんでいる。	「話すこと〔やり取り〕」(ウ) 4年生ともっと仲良くなるクイズ交流会にするために、相手に伝わるように工夫しながら、あるものが何かについて、尋ねたり答えたりして伝え合っている。	「話すこと〔やり取り〕」(ウ) 4年生ともっと仲良くなるクイズ交流会にするために、相手に伝わるように工夫しながら、あるものが何かについて、尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
「ある物が何か」について既習の語句や表現を使ってクイズを出したり、答えたりしている児童。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
4年生ともっと仲良くなるために、クイズ交流会をしよう！		相手の反応を確かめたり、感じ取ったりしながら、身に付けた語句や表現を使って、クイズを出したり、答えたりすること。	
指導計画と評価計画（5時間取扱い 本時3/5）			
過程	時間	学習活動	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
1	1	○単元のゴールを設定し、その達成のために必要な表現等について考え、学習の見通しを持つ。 ○クイズに関する言い方に慣れる。	「話すこと(やり取り)」(ウ) 【知技】 (行動観察)
2	1	○様々なクイズの出し方を知る。 ○クイズの答えとヒントを伝え合う。	「話すこと(やり取り)」(ウ) 【知技】 (行動観察、振り返りカード)
3	2 1/2 本時	○クイズとヒントがより相手に伝わるようにアドバイスし合い、たずねたり答えたりする。 【本時】 ○クイズを通して4年生ともっと仲良くなるためにどのようなやり取りをすればよいかアドバイスし合い、たずねたり答えたりする。	「話すこと(やり取り)」(ウ) 【思判表】 (行動観察、振り返りカード) 【態】 (行動観察、振り返りカード)
4	1	○4年生とクイズ交流会をする。 ○単元の振り返りをする。	「話すこと(やり取り)」(ウ) ★【知技】 (行動観察、振り返りカード) 簡単な語句や基本的な表現を用いたクイズの出し方に慣れ親しんでいる。 ★【思判表】 (行動観察、振り返りカード) 4年生ともっと仲良くなるために質問の仕方やヒントの出し方を工夫しながらクイズを出している。 ★【態】 (行動観察、振り返りカード) 4年生ともっと仲良くなるために質問の仕方やヒントの出し方を工夫しながらクイズを出そうとしている。

2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容、指導事項等)				
小学校学習指導要領 2 内容 [知識及び技能] (1) 英語の特徴等に関する事項 ア 言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。 [思考力、判断力、表現力等] (2) 情報を整理しながら考えなどを形成し、英語で表現したり、伝え合ったりすることに関する事項 ア 自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。 (3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ① 言語活動に関する事項 イ 話すこと [やり取り] (ウ) 自分や相手の好み及び欲しい物などについて、簡単な質問をしたり質問に答えたりする活動。				
教材・題材の価値				
本単元は、身の回りの物の言い方やある物が何かを尋ねる言い方などを知るのに適している。また、相手の反応を見ながら表現方法を工夫してコミュニケーションを取ることで、主体的に活動する姿が期待できる。				
本単元における系統				
3年 This is for you. 「欲しいもの」を尋ねたり答えたりする。	3年 What's this ? 「ある物が何か」を尋ねたり答えたりする。	3年 Who are you? 「誰か」を尋ねたり答えたりする。		
児童の実態				
■ 本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
クイズを出したり答えたりすることが英語でできますか。	8	6	4	0
色や形を英語で言うことができますか。	9	7	2	0
20までの数を言うことができますか。	4	7	7	0
■ 本単元の学習に関する意識の状況				
調査内容	よく	まあまあ	あまり	ない
外国語活動の学習が好きですか。	12	5	1	0
Unit Goal や Today's Goal を意識して取り組んでいますか。	9	8	1	0
英語で友達とやりとりすることが好きですか。	8	10	0	0
■ 考察 (資質・能力に関して) 英語でクイズを出したり答えたりすることに自信を持っていない児童が4人いる。また、色や形を言える児童は多いが、20にはまだ慣れていない児童も多い。そこで、児童が、必要に応じて表現を確認できる方法を工夫したい。 (学びに関して) Unit Goal や Today's Goal を意識して学習に取り組むことができる。「外国語活動の学習が好きですか。」で「あまり」を選んだ児童は、特に英語で話すことに苦手意識を持っている。その児童が少しでも好きになったり、楽しいと思えたりする学習になるように個人で発音する練習の時間を確保するだけでなく、個別指導を行いたい。				

3 指導に当たっての留意点（本校の校内研修との関連から）

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1 研究主題
自己を見つめ、自ら学びに向かう児童の育成
～児童が主体的にコミュニケーションを図ることができる授業づくりをとおして～2 研究の仮説
(1) 児童の実態に合った学習のゴールを設定し、意欲的に取り組むことができる言語活動を設定すれば、伝え合う力が高まり、主体的にコミュニケーションを図ることができるだろう。
(2) 授業の系統性を明確にし、段階的に伝え合う活動に取り組みせれば、児童の伝え合う力が高まり、主体的にコミュニケーションを図ることができるだろう。3 研究の具体的な取組<ol style="list-style-type: none">① 授業づくりに関すること<ul style="list-style-type: none">・児童の学習意欲を喚起する学習課題の提示・意欲的に取り組むことができる言語活動の設定・振り返りの工夫・ALTの効果的な活用② 低学年からの系統性に関すること<ul style="list-style-type: none">・外国語活動、外国語との系統性を明確にした低学年における外国語学習の充実③ 日常活動に関すること<ul style="list-style-type: none">・以下の外国語や外国の文化に親しむ活動を通して、児童の外国語に対する興味関心を高める。 |
|---|

○単元を通した学習課題を「4年生ともっと仲良くなるために、クイズ交流会をしよう!」と設定し、単元のゴールを児童と共有することで、学習への意欲を高めるとともに、活動の見通しを持たせる。

【共有化・焦点化】

○4年生とは、水泳の学習や運動会の表現、持久走大会など体育科を中心に合同で学習をすることがあった。2月とともに学習してきた4年生と「1年間ありがとうの会」を開催することになっている。【共有化】

○田浦中学校とは、あいさつ運動や乗り入れ授業（中学校の先生方に授業をしていただく）など連携した取組を行っている。専門的な知識を持った中学校の先生に授業に参加してもらうことで、小学校の先生と違った視点で児童と関わることができるため、児童の学習意欲を高めることにつながる。【共有化】

○言語活動では相手を替えて何度もやり取りをさせることで、伝える内容や英語表現について児童自身が思考する場面を設定する。また、中間評価を適宜行い、既習の言語材料や表現の定着を図る。

【焦点化・視覚化】

○クイズの答えとヒント考える際にシンキングツール（クラゲチャート）を使用したり、自身のクイズの出し方を客観的に振り返るためにビデオ撮影したりするなどICTを効果的に活用する。

【焦点化・視覚化】

○授業終末のまとめでは、単元を通して自己の学びの変容を振り返る時間を設定し、できるようになったことやできなかったことを自覚させ、次の授業への意欲を高める。【共有化・視覚化】

（人権教育を通じて育てたい資質・能力）

○相手の考えをしっかりと聞いたり、自分の考えを伝えたりすることができる。（技③ソ）

4 本時の学習

(1) 目標

クイズとヒントが相手により伝わるように表現方法を工夫する。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言や反応)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p style="text-align: center;">【Unit Goal】 4年生ともっと仲良くなるために、クイズ交流会をしよう！</p> <p>1 Warming-up ・ Greeting ・ 本単元で使う言語材料の復習をする。 ◇ 数、色、形の言い方を思い出したぞ。 ◇ 先生たちは、ゆっくりはっきり言っているな。</p> <p>2 Today's Goal ・ 教師のデモンストレーションを見て、本時のめあてをつかむ。</p>	<p>○多くの児童がヒントに使っている既習の言語材料を復習できるようにする。 ○本時の目標である「表現方法」を意識して復習できるようにする。</p> <p>○T1がクイズを出し、T2が答えるやり取りを示すことで、本時のめあてを掴むとともに、見通しを持つことができるようにする。</p>
展開	30分	<p>3 Activity 1 ・ ペアでクイズを出し合う。 ◇ なんて言うんだったかな。 ◇ ジェスチャーがあると分かりやすい。 ◇ 早口だと聞き取りにくいな。</p> <p>中間評価 ・ 全体で活動を振り返り、課題を解決する。 ◇ ○○さんはゆっくり話していたな。 ◇ ジェスチャーを付けてみたいな。 ◇ 何が好きかも聞きたいな。</p> <p>4 Activity 2 ・ ペアを替えながらクイズを出し合う。 ◇ 相手が言ったことを繰り返して言ってみよう。 ◇ クイズの後に質問をしてみよう。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">【期待される学びの姿】 より相手に伝わるクイズとヒントの出し方になるように表現方法を工夫しようとしている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【期待するやり取り】</p> <p>A: What's this? B: Hint please. A: It's ~. B: It's a ~. A: That's right. No, sorry.</p> </div>	<p>○個人練習をする時間を設ける。 ○隣の児童とクイズを出し合い、分からなかった英語表現の確認や良かった所を伝え合う時間を設定する。 ○T1が話す速さやジェスチャー、T2がやり取りの内容について役割分担して机間指導を行う。 ○T2が特に良かった点を称賛することで、児童の自信につながるようにする。 ○単にクイズの出し合いで終わるのではなく、4年生ともっと仲良くなれるようなやり取りの工夫をしている児童も取り上げるようにする。</p> <p>○やり取りがうまくできない児童には、教師が「Good Communications Point」を示しながら、例を準備しておき、助言するなどして活動を支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【指導に生かす評価】「話すこと(やり取り)」(ウ) 【思判表】(行動観察)</p> <p>○話し方やジェスチャー等を工夫し、より相手に伝わるように「ある物が何か」について尋ねたり、答えたりしている。</p> </div> <p>○最初のペアの児童ともう一度クイズを出し合うことで、本時の互いの成長を認識する時間を設ける。</p>
終末	5分	<p>5 Reflection</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめと振り返り】 ◇ たくさんの友達とクイズを出し合うことができた。 ◇ ゆっくり、はっきり言うと相手に伝わりやすかった。 ◇ ジェスチャーを付けてクイズを出すことができた。</p> </div>	<p>○英語でやり取りをしたことでの気づきや、自分の学びを振り返っての感想などを振り返りカードに記入し、発表し合うことで学びを共有する。 ○指導者から、活動に対する気づきを話す。</p>

【板書計画】

Unit Goal : 4年生と もっと仲良くなるために、クイズ交流会をしよう！		
Today's Goal	4年生とクイズを楽しめるようなやり取りをくふうしよう！	
絵カード	<p>やり取りのくふう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ゆっくり話す。 ・ もう一度くり返す。 ・ ジェスチャーをつける。 ・ 質問をつけ加える。 	<p>Good Communications Point</p> <ol style="list-style-type: none"> ① smile ② eye contact ③ clear voice ④ reaction ⑤ gesture

(単元末に期待するやり取り例)

<p>3年生: Hello. 4年生: Hello. 3年生: Let's play Kanzi quiz! What's this? (タブレットで漢字を見せる。) 4年生: I don't know. Hint please. 3年生: It's fruit. 4年生: It's a banana. 3年生: No. 4年生: Hint please. 3年生: It's round. 4年生: It's a peach. 3年生: No. 4年生: Hint please. 3年生: It's purple. 4年生: It's a grape. 3年生: That's right. It's a grape. Do you like grapes? 4年生: No. I don't. 3年生: What fruit do you like? 4年生: I like apples. 3年生: Me too.</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 60px; height: 60px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;"> <p style="margin: 0;">葡萄</p> </div>
--	--

